引用と出典（自分の文と人の文を分ける）

調べたことを新聞にまとめるとき、人の文や図はどのように使えばよいだろう

調べたことをまとめた新聞（架空）

わたしたちの町のトンボ新聞

「トンボのよう虫は、水の中でくらし、
小さな生き物を食べて育つ。」

出典：『町の生き物ずかん』（△△ 文、□□出版、2024年）
「池のトンボのページ」（○○市の自然の会、2026年10月1日に見た）

自分の文 ----- 引用（人の文） 出典

人の文や図を使うときの3つのきまり

1 「 」でかこんで、分ける

人の文は、かえないで、そのまま書く。
人の文は「 」でかこみ、自分の文と分ける。

2 自分の文が中心

引用は、ひつようなところだけにする。
自分の考えや調べたことを多く書く。

3 出典を書く

本：本の名前・書いた人・出版社・年
ウェブページ：ページの名前・
作った人・見た日

作品には、作った人の「けんり」がある。©（マーク）は、その目じるしの1つ。

きまりを守って引用すると、人の文や図も、自分の学びに生かすことができる。

※ 模式図。新聞・本・ウェブページ・引用の文は架空の例。